

◆平野文部科学大臣◆

電気通信大学を視察、最先端の研究装置を体験

平野文部科学大臣が、4月12日に電気通信大学を訪問した。

はじめに、梶谷学長から同大学の概要及び機能強化改革の取り組みについて説明があり、梶谷学長はじめ大学関係者らと活発な意見交換が行われた。

その後、平野大臣は、梶谷学長らの案内により、情報理工学研究科を視察し、横井浩史



教授から、障害者の失われた機能の代替を果たす筋電義手の研究や、機能不全に陥った部位等に電気信号を与えることにより画期的な速さで機能回復を補助する研究等について説明を受け、平野大臣自ら筋電義手に触れる等、同分野の最先端の研究に大きな興味を示していた。



横井教授④が研究する筋電義手の仕組みを実際に体感する平野大臣⑤(④梶谷学長、内藤専門教育課長)



小池教授④の「テーブルトップシステム」の研究に興味を示す平野大臣⑤(④茂里秘書官)

度認識とそのゲームへの応用、透明ゲルの光弾性効果に着目した計算インタフェース等について説明を受け、それぞれの装置の仕組みを実際に体験しながら多くの意見交換を行った。

大臣視察には文部科学省から川端総務課長、内藤専門教育課長、茂里秘書官、畑科学・技術教育係長が随行した。



平野大臣⑤と談笑する児玉理事、戸部副理事、梶谷学長

視察

モニター